

## 1830 | 卒業制作

6 単位（通信授業 4 単位、面接授業 2 単位）

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

## 授業の概要と目標

版画コースの教育課程においては、技術研究、材料研究を行い、各自のテーマに沿った版表現を考察してきた。「卒業制作」では、これをさらに深めてオリジナリティを導き出すことに取り組み、これまでの学習成果を十分に出し切る制作が求められる。総まとめであると同時に卒業後の創作の基盤になり、活動展開を方向付ける重要な科目でもある。結果を恐れず、これまでの学習体験を活かし、各々の資質に合った表現に向けて、精一杯悔いのない制作が望まれる。

## 課題の概要

4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から 1 版種を選択し、版画作品 5 点を制作する。通信授業、面接授業通しての同一課題。作品は卒業制作展で展示。

## 授業計画

## [通信授業]

学習指導書『版画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成 29 年度』の「卒業制作」、教科書『新版 版画』を参照し、制作を進める。

## [面接授業]

卒業制作における中間指導として、模擬展示によるドローイング指導、制作工程計画、技術的問題、展示形態等の指導を受けながらの制作。

・前半	第 1 日	午前：下図を用いた模擬展示及び中間講評	午後：制作
	第 2 日	午前：制作	午後：制作
・後半	第 3 日	午前：制作及び中間指導	午後：制作
	第 4 日	午前：制作	午後：制作

## 成績評価の方法

卒業制作提出作品、面接授業、全体講評の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 以下のすべての条件を満たすこと。

- ・版画コースに在籍していること。
- ・版画コース 3 年次必修科目をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。
- ・「版画Ⅵ」、「版画Ⅶ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 油絵学科版画コース 4 年次必修科目。

課題制作に必要な設備・機材を使用できる環境にあること。

## 教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012 年）

学習指導書：『版画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）